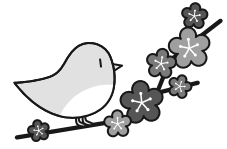


平成29年3月1日発行



社協だより



第102号

■天王センター

TEL (018) 878-6538
FAX (018) 878-7127

■昭和センター (ボランティアセンター)

TEL (018) 877-5017
FAX (018) 877-4108

■飯田川センター

TEL (018) 877-2627
FAX (018) 854-8251
有線 3028



△才蔵 (左) 太夫 (たふう) が掛け合いを演じる

秋田万歳で

心なごます



ここ追分西町内会では、新年会行事として新春を寿ぐ民俗芸能『秋田万歳』に、地域の方々の笑顔がひらかりました。

秋田万歳は、めでたい言葉に節をつけて舞う「祝福芸」の一つとされます。かつては、素襖烏帽子(すおうえぼし)姿の太夫と、頭巾をかぶり鼓を持った才蔵が正月に二人一組で家々を回って新年の祝福をしました。

この日は、老婦人が踊るさまを表現した「ばんば舞」、佐竹藩を題材にした「御国(おくに)万歳」などの伝統的な演目に加え、民謡の秋田音頭やドンパン節を万歳風にアレンジした曲もあり、観衆から大きな拍手があくられました。

永井和一郎会長は「年の初めの秋田万歳で心なごむときを過ごした。地域活動のエネルギーにしていきたい」と話していました。

支え合いの地域づくり

任期満了了!

理事・監事・評議員を選任

潟上市社会福祉協議会の理事会及び評議員会が1月17日に開催されました。席上、理事会においては評議員31名が選任され、また評議員会においては、理事15名と監事3名が新たに選任されました。いずれも今年度中に任期満了となることに伴い、新たに選任されたものです。

社会福祉法の改正により、理事・監事の任期については、3月1日から最初の定時評議員会の時(6月予定)まで、評議員については、1月26日から3月31日までとなります。また、潟上市社会福祉協議会定款についても全面改正されました。

理事

石川久悦(天王)
工藤紀代子(天王)
村山昌子(天王)
加藤裕一(天王)
古仲弘志(天王)
藤原慶正(天王)
新田祐子(昭和)
館岡淑子(昭和)

川上孝(昭和)
佐々木博信(昭和)
信田敏幸(昭和)
伊藤義弘(飯田川)
富浪哲子(飯田川)
佐藤レイ子(飯田川)
三浦正雄(飯田川)

監事

高橋治男(昭和)
高橋利雄(天王)
三浦浩一郎(飯田川)

評議員

京谷國夫(天王)
丸谷昇(天王)
鈴木吉美(天王)
安田静男(天王)
長門幸矢(天王)
鎌田竹二郎(天王)
鈴木恵子(天王)
木元與三郎(天王)
吉田良子(天王)
石井道博(天王)
越後明(天王)
児玉栄(天王)
菅原恒雄(天王)
伊藤金雄(天王)
奈藤茂一(昭和)
加藤慶規(昭和)
小松吉雄(昭和)
近藤弘子(昭和)
加藤金一郎(昭和)
小林寿夫(昭和)
佐々木淳子(昭和)
鎌田重久(飯田川)
伊藤秀久(飯田川)
二藤和男(飯田川)
小田洋子(飯田川)
菅原喜久郎(飯田川)



なお、4月1日以降の評議員については、改正社会福祉法において『評議員選任・解任委員会』で選任されます。評議員選任・解任委員は次のとおり。

- ・鈴木公悦 (グループホーム 梅の里) (株)サポート昭和代表取締役
・高橋利雄 (潟上市社会福祉協議会監事)
・鈴木司 (潟上市社会福祉協議会 事務局長)

- 北條淑子(飯田川)
山平喜美夫(飯田川)
仲山和法(行政)
嵯峨司子(行政)

理事会、評議員会への

報告から(要旨)

(1)新しい地域支援事業について

平成29年4月からすべての自治体で取り組むことになる新しい地域支援事業は、サロンや学習会、交流会などを開催して、地域とのつながりを深めながら、住民主体の地域づくりを進めるものです。

新しい地域支援事業を進めるために、社協にはこれまでの経験を活かし、地域の課題やニーズの掘り起こしなど、生活支援コーディネーターの役割を担える人材の確保、育成が期待されています。

天王地区の曲町では、介護予防教室を中心に住民(自治会)が主体的に声を掛け合ってサロンを開催しています。県社協のモデル事業として進めているものです。団体個人が参画し、住民が主体的に事業を考え、支え合いの地域づくりを進めていく、地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいます。

(2)社会福祉法の改正について

改正社会福祉法の具体的な運用としては、経営組織の強化の観点

から、理事及び監事、評議員会の必置化や評議員の条件、員数・任期等についても見直しが行われております。このほか事業運営の透明性の向上や、財務規律の強化といった観点からも見直しが行われました。これらを踏まえ、潟上市社協としての法人制度改革に対応してまいります。

(3)屋内ゲートボール場

「すばーく天王」について
屋内ゲートボール場「すばーく天王」修繕工事が平成28年12月16日をもって完成いたしました。

平成4年に地域住民の健康増進施設として建設された屋内ゲートボール場「すばーく天王」は、建設から24年が経過し、軒下のプレート等が腐食により落下するなど、危険防止のための補修工事が必要となりました。

このことから平成28年度において日本財団並びに潟上市からの財政支援を仰いで、補修及び補強等を行ったものです。

すばーく天王工事完成!

「日本財団」よりの助成、潟上市役所よりの補助金を受け、すばーく天王の屋根軒下改修工事が完了しました。

すばーく天王では、様々なスポーツの練習が楽しめます。潟上市内にお住いの団体の方には無料で開放しておりますので、いつでもお問い合わせください。

- ◆利用可能時間 午前9:00～午後8:00
- ◆問合せ先 潟上市社会福祉協議会天王センター
TEL 878-6538



◁冬にはグラウンドゴルフも

地域の見守りネットワークを大切に

1月30日にネットワーク活動推進連絡協議会(潟上市全域)が開かれました。

会議には、市職員、消防署員、警察署員、民生委員等が出席し、各地区のネットワークの現状や、雪対策、火災への対応などについて話し合われました。特に大火災時には周辺の自治会、消防団、近隣住民の支援活動が重要であるとしました。

みなさんの隣近所への気軽な声掛けや、見守り活動(新聞、郵便がたまっている。日中電気がつきっぱなし。カーテンが開かれない。最近見かけない等)などの気づきが、事故を未然に防ぎ、早期発見につながります。地域ぐるみで見守っていくことが大切であるとして、呼びかけの輪を広げていくことを確認しあいました。



△各団体から幅広い意見が出ました

ボランティアアスタール



△「自分の芯を大切に」と武藤氏

1月12日、羽城中学校視聴覚ホールで社協主催のボランティアアスタールを開催し、湯上市内の中学1・2年生150人が参加しました。
講師には元AKTのアナウンサーで、現在はフリーのアナウンサーとして活躍されている武藤綾子氏をお招きしました。武藤さんからは「働くこと、地域で生きること」と題し、なぜアナウンサーになったのか、仕事の内容や、活動する中で大変だったこと、やりがいを感じたことなどをお話していただきました。



△講演後の質問も盛り上がりました

講演の中で武藤さんは参加した中学生に、世の中は大きく変化しているけれども、自分は何を大切にしている、どう生きるのか、その芯をしっかりと持っていれば、将来どんな仕事につくか迷った時でも自信を持って選ぶことが出来ると語りかけました。
講演後には、中学生から「上手に話すためにはどんな練習をしたらいいか」「今までで一番やりがいを感じたのはどんな仕事か」などの質問があり、自分の将来のことについて学ぶ良い機会となりました。

三世代の繋がりを大切に

●羽立ボランティアの会●

1月8日、羽立ことぶき荘で、羽立地区の三世代交流会が開かれ、地域の子ども達を含む三世代50人が参加しました。
子ども達が最初に自己紹介をしたあと、ぶんぶんごま、折り紙遊び、あやとり、カルタ、けん玉などの昔遊びを三世代で一緒に行いました。
縄ないをお年寄りから習いながら一緒にやった子ども達は、最初はなれない様子でしたが、すぐに上達してきれいに縄をなっていました。
羽立ボランティアの会では他にも地域の清掃活動等を行って



△上手くなえるかな？

行っています。
皆さんの地域でも取り組んでいるボランティア活動がありましたら、是非ボランティアセンターまでお知らせください。

高校生がボランティアにしよう



△皆さん真剣に聞いています

1月31日、秋田県立支援学校天王みどり学園でボランティア養成講座が開催されました。
これは、障がい児者の活動をサポートするボランティアの育成を目的に行われたもので、湯上市社協の西村ボランティアコーディネーターが講師を務め、秋田西高等学校、五城目高等学校から高校生47名が参加しました。
参加した生徒からは「これからはボランティアをする時は相手の気持ちを一番に考えてするようにしたい」「自分が地域の役に立てる場面では、積極的にボランティアをしたい」などの感想が聞かれました。

『赤い羽根共同募金』 助成事業説明会のご案内

潟上市共同募金委員会では、さまざまな地域福祉の活動に取り組む組織や、ボランティア・市民活動団体などを支援する仕組みの一つとして「赤い羽根共同募金運動」の配分金を助成しています。

共同募金の目的をご理解いただき、本事業を活用していただくために、説明会を開催いたします。

申請を希望するみなさま（団体等）は、ご出席くださるよう、ご案内いたします。

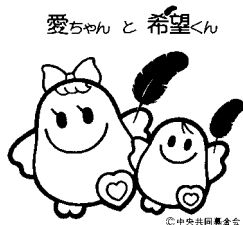
なお、申請がまとまり次第、共同募金委員会審査委員会で事業内容や事業の目的などを審査し、助成の可否を決定いたします。

※資料準備のため、出席希望の方は3月10日(金)まで、ご連絡ください。

- と き
平成29年3月14日(火)
午後1時30分～3時(予定)

- ところ
潟上市社会福祉協議会
(潟上市役所
飯田川出張所内)

- 電話
018-877-2677



まだ火災警報器を付けていない方は
いませんか？付けている方も、

10年を目安に交換を!!

どうして「住宅用火災警報器」が必要なの？

建物火災の死者のうち、9割が住宅火災で亡くなっています。火災の発生時間は、22時から翌朝の6時までの就寝時間帯に多く、火災の発生に気づくのが遅れて、約6割が「逃げ遅れ」によって亡くなっています。そのうち6割が65歳以上の高齢者です。

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に交換しましょう。

●設置時期を調べるには

火災警報器を設置した時に記入した「設置年月」、または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

<お問い合わせ>

男鹿地区消防本部
電話 0185-23-3139
湖東地区消防本部
電話 018-874-2420



わが家の
住宅用火災警報器、
いまずぐチェック!

パート職員を 募集しています

- 職種 訪問介護員
- 仕事の内容 在宅で介護を必要とする方を訪問し、介護サービスを提供していただきます。
- 資格 介護福祉士または介護職員初任者研修修了（ヘルパー二級）、普通自動車免許
- 年齢 不問
- 時給 1,100円
- 勤務時間 週間勤務表に基づき、週3～4日。1日2～3時間。
- （勤務時間は相談に応じます）
- 雇用期間 12ヶ月
- 契約更新の可能性あり（原則更新）
- 加入保険 労災
- 選考方法 面接
- その他 社用車・マイカー使用（ガソリン代支給）
- 訪問範囲は潟上市内です
- ハローワーク求人票をご確認ください
- 申込み、問合せは

●潟上市社会福祉協議会
電話 018-877-2677

までお願いします。

教育支援資金貸付制度



秋田県社会福祉協議会では、教育支援資金の貸付制度を設けています。

収入の少ない世帯のお子さんが進学される場合、就学に必要な経費や入学するための準備費用として貸し付ける公的資金制度です。

対象となる方は、高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学及びこれに準ずる学校に進学を希望する方です。返済は卒業後六か月据え置きで、無利子です。

教育支援資金申込みの注意事項

教育支援資金は、次のような制度が利用できる場合があります。まずは後述の他制度の申し込みをお願いします。申込時に、他制度の申請結果、または担当者の名刺等が必要になる場合があります。ご留意ください。

- ・金融機関のローン
- ・日本学生支援機構
- ・秋田県育英会
- ・母子父子寡婦福祉資金
- ・その他の奨学金

□教育支援費

区分	貸付限度額	備考
高等学校	月 35,000円	授業料、修学中の経費
高等専門学校	月 60,000円	
短期大学	月 60,000円	
大 学	月 65,000円	

□就学支度費

区分	貸付限度額	備考
学校に入学するための支度費	500,000円以内	入学金、制服やカバン等の購入費用

介護用品支給のお知らせ

日常介護用品支給

社協では、春と秋の年2回、在宅で常時紙おむつを使用している寝たきりの方に紙おむつを支給しています。

対象

介護保険「要介護度3・4・5」に認定されている方。
身体に障がいのある方。

負担額

なし

寝具洗濯類乾燥消毒サービス

要介護者で寝具類の衛生管理に困難な方にも、年2回、業者が自宅へ回収に行き、洗濯をして配達します。洗濯中に代替の寝具を貸し出すサービスもあります。(※数に限りがあります)

対象

- ・虚弱な65歳以上の一人暮らしの世帯
- ・虚弱な65歳以上の高齢者のみの世帯
- ・身体に障がいを持ち、寝具の衛生管理が困難な方

負担額

かかった費用の1割

対象となる方については、各センターまたは地域の民生委員に申し出ください。(期日は4月14日(金)です)

善意

ありがとうございます
ごさいます

2月20日までの受付

【香典返し】

- 天王(二田新町) 綱木 充様
- 天王(荒町) 石川 久悦様
- 昭和(乱橋) 高橋 善知様
- 昭和(乱橋) 佐々木 博信様

【一般寄付】

- 天王 匿名希望

皆様の善意は市民の福祉のため
大事に使わせていただきます。

編集後記



今年は雪が例年より多く、排雪所が雪で溢れ返ってしまいました。ご近所で「助け合っている」様子がよく見受けられました。

さて、来年度より日常生活支援総合事業が本格的に始まります。この事業は、日常生活上の困りごとや外出等の多様な支援を、様々な団体や組織が一丸となって取り組んでいくものです。要は、ご近所どうしの「助け合い」です。潟上市内の様子を見ると、既にそこにあることなのかと思わされた冬でした。

(鎌田)